

男女共同参画

第5次基本計画策定専門調査会

安全・安心ワーキンググループ(第2回)

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長
赤石千衣子

しんぐるまざあず・ふおーらむの事業

就労支援事業

- キャリア支援プログラム「未来への扉」
- オフィスワーク就労支援プログラム「明日に花咲く」

相談事業

- 電話メール相談
- グループ相談会
- 食料支援

セミナー事業

- 当事者向け法律講座、エンパワメントセミナー
- 支援者養成講座

情報発信事業

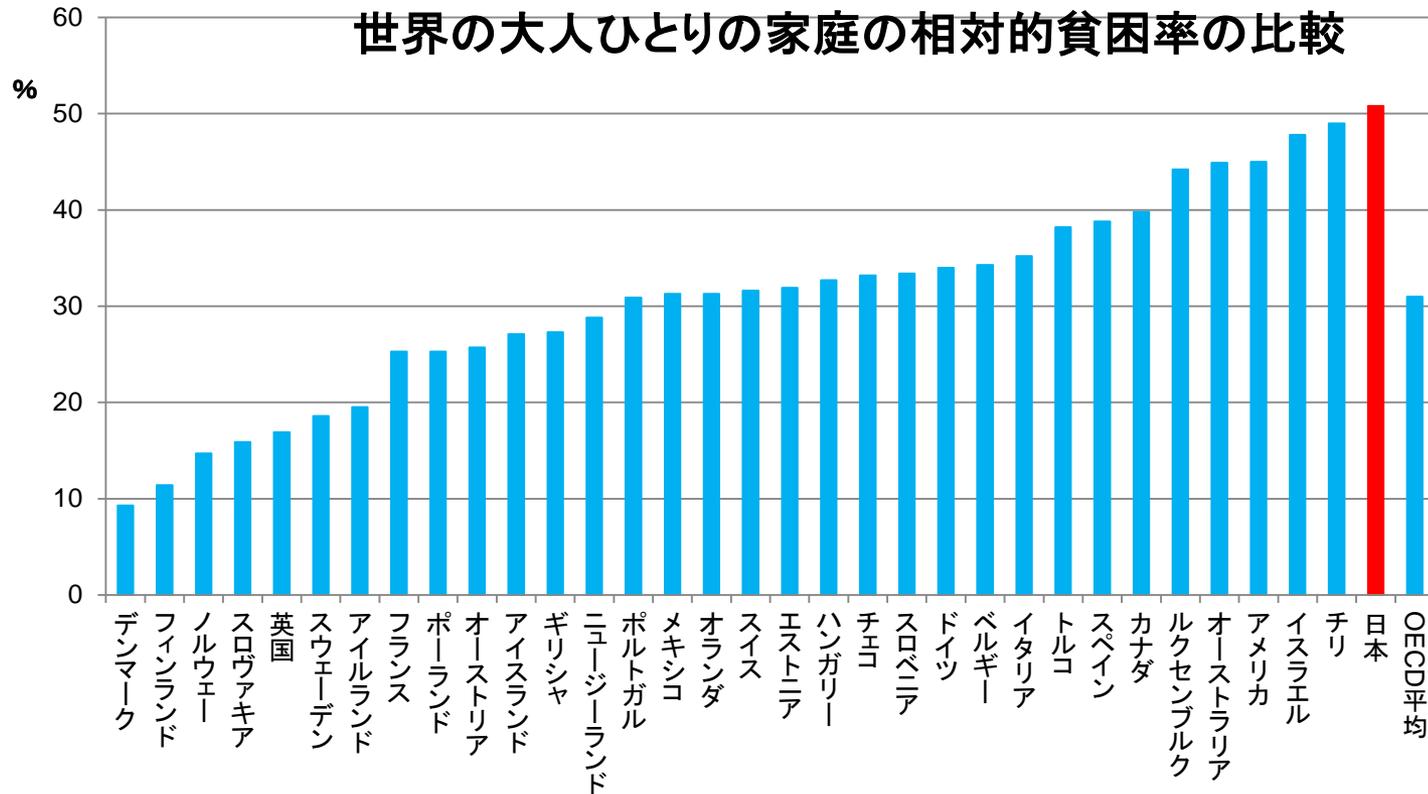
- Smoms ひとり親向けフリーペーパー
- シングルマザー365日サポートブック
- 教育費サポートブック

子育て支援事業

- 新入学お祝い金事業
- 親子のイベント
- 政策提言

シングルマザーと
子どもたちが生き生き
くらせる社会の実現

日本のひとり親家庭の相対的貧困率は 先進国世界最悪



(出典)OECD 2014 Family database "Child Poverty"

(注)ハンガリー、アイルランド、日本、ニュージーランド、スイス、トルコの数字は2009年、チリの数値は2011年

相対的貧困率とは、世帯所得をもとに国民一人ひとりの所得を計算して順番に並べ、真ん中の人の所得の半分に満たない人の割合。

シングルマザーの貧困

- 男性稼ぎ主型システムによる不利がシングルマザーに集中
- 所得再分配が少ない
- 養育費の支払い率が低い

さらに困難を重複させているものは

- 伝統的な家族観による排除
- 仕事と子育ての両立困難
- 自己責任論と社会的孤立

新たな課題として

- 原則面会交流・共同親権の潮流

就業状況

○就業率は高いが

母子世帯の母 81.8% 父子世帯85.4%

(非正規雇用 43.8%)

(海外のひとり親家庭の就業率) アメリカ(66.4%)、イギリス(52.7%)、フランス(68.8%)、イタリア(71.6%)、オランダ(74.2%)、ドイツ(64.9%)、日本(85.9%)

OECD平均(66.5%) (出典)OECD Family databaseより(2011年の数値。日本の数値は2007年)

○年間就労収入は低い

母子世帯の母 200万円 父子世帯の父 398万円

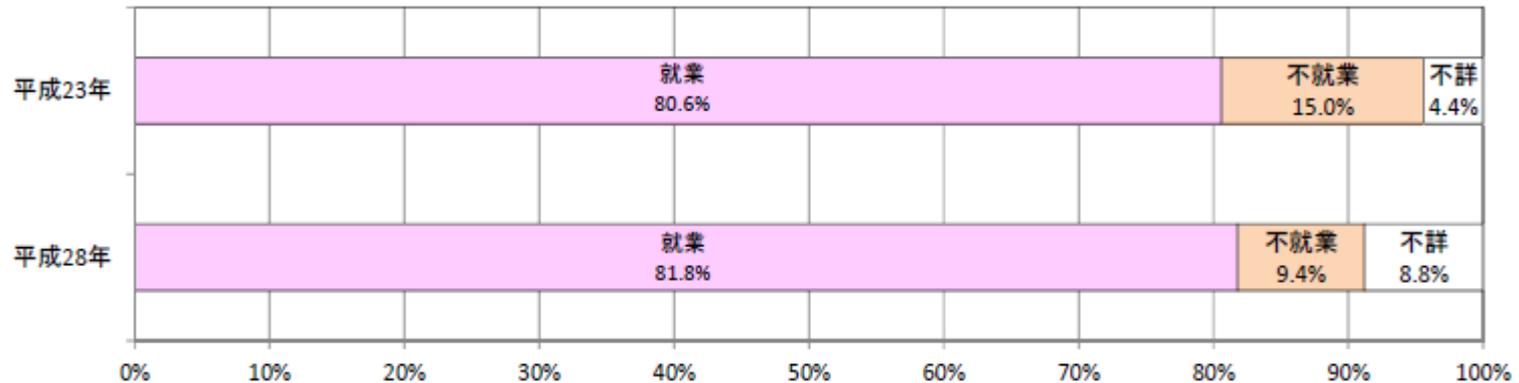
子どものいる世帯の平均収入 707.8万円と比較すると

母子世帯収入 348万円 49.2% 父子世帯収入 455万円 81.0%

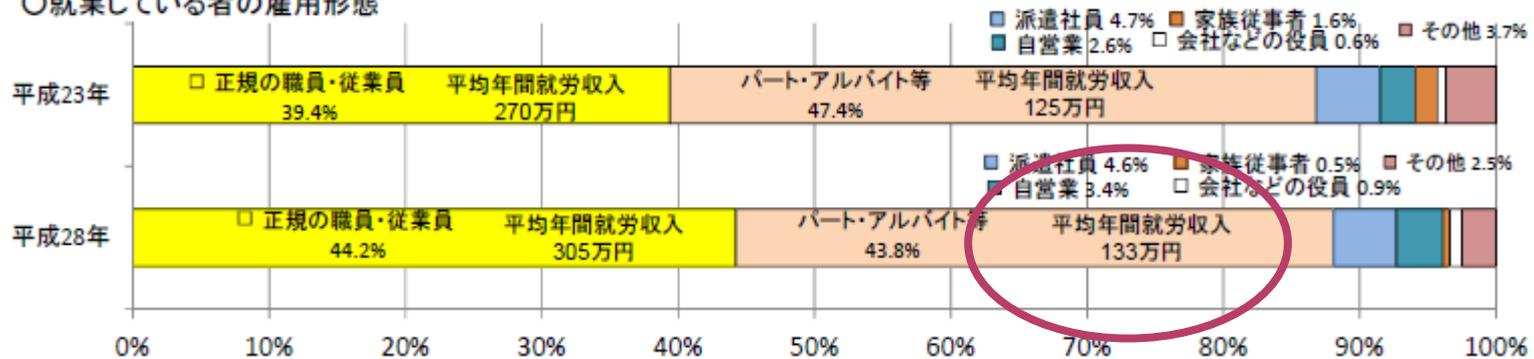
4(1) 母子家庭の就業状況

○ 母子家庭の81.8%が就業。就業している者の雇用形態は、「正規の職員・従業員」が44.2%、「パート・アルバイト等」が43.8%。
 (「派遣社員」を含むと48.4%と、非正規の割合が高い。)

○就業状況



○就業している者の雇用形態



月収10万円のシングルマザーをつくる壁

- 配偶者控除 103万円 ➡ □150万円
- 年金の第3号被保険者 130万円
- 社会保険の適用拡大により130万円の壁がなくなる傾向

上記二つは労働市場に影響

➡ □「月収10万円のシングルマザー」

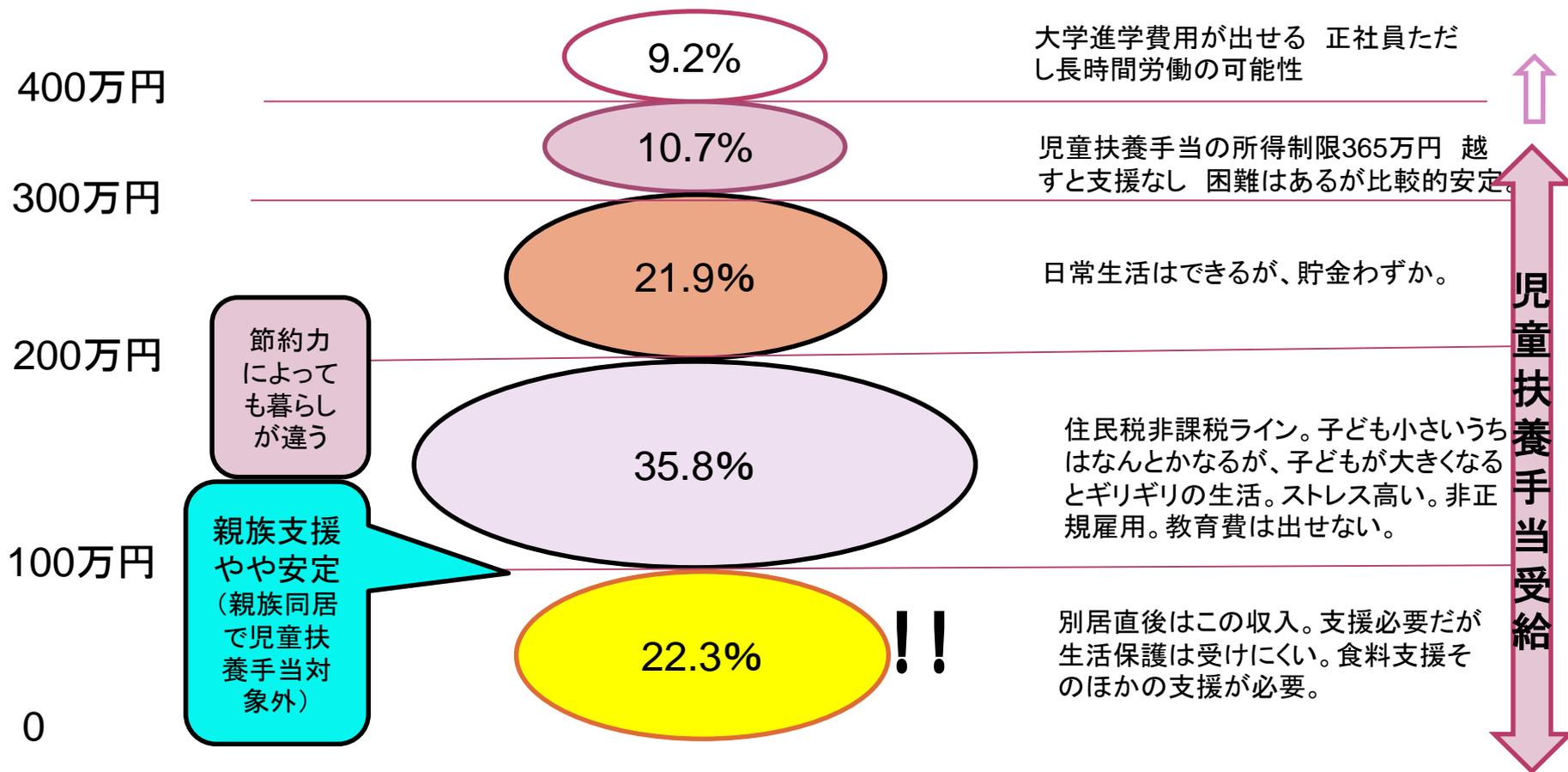
- 児童扶養手当の全部支給 130万円 ➡ □160万円(200万円にすべき)

養育費・面会交流

養育費は2011年から2016年の間に取得率が母子世帯で約5ポイント上昇。面会交流率など全体に上昇、面会交流率のほうが養育費取り決め率より高い。

	母子世帯	父子世帯
	2016	2016
養育費の取り決め率	42.9%	20.8%
養育費の受け取り率	24.3%	3.2%
面会交流の取り決め率	24.1%	27.3%
面会交流の実施率	29.8%	45.5%

母子家庭の収入階層からみた暮らし



母子福祉施策の検証の必要性

- 2003年～

就労支援施策を重点

在宅就労支援

全国都道府県に母子家庭等就業・自立
支援センター

果たして効果があったのか検証がない

貧弱な現金給付とわずかな改善

児童手当

児童扶養手当

2016 複数子加算の拡充
年3回支給 ➡ 年6回支給

就学援助

入学準備金の前倒し

仕事と子育ての両立の困難

仕事のブランクがあるから不安

いいお母さんになりたい。



子どもの保育は

子どもが病気のときどうしたらいいの？

正社員になりたいけど長時間働けない



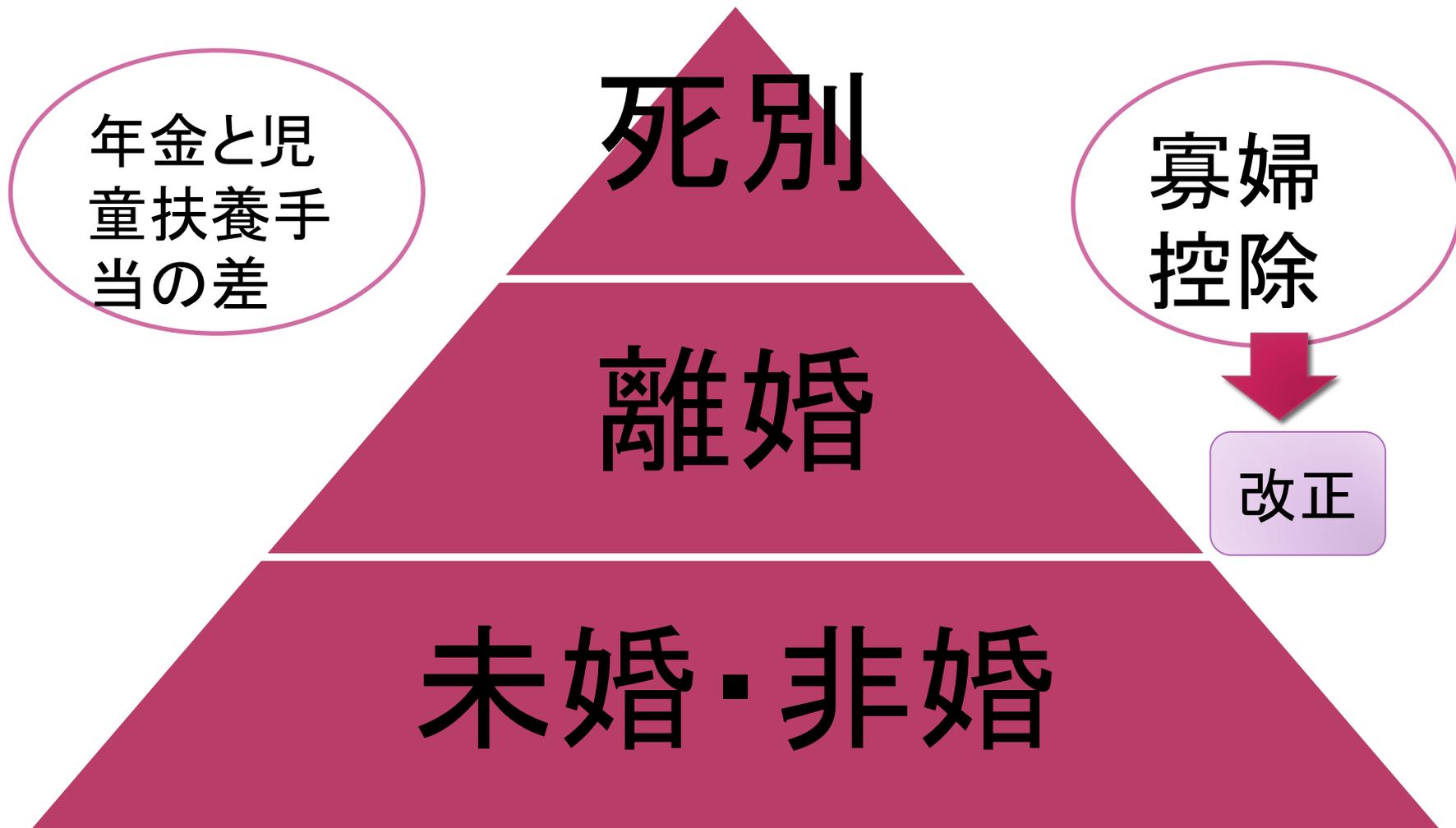
子どもの教育費を準備しないと

子育てを助けてくれる制度や人が少ない



シングルマザー内の階層性

(伝統的家族観)



シングルマザーの健康

無業母子世帯母は半数が抑うつ状態



- 母子世帯の母親、とくに無業母子世帯は健康状態が悪い。無業母子世帯の6割弱は、自分の健康状態が「(あまり)良くない」と回答しており、2人に1人(53.4%)に抑うつの傾向がある。

うつ傾向の人に「がんばれ」という支援は効果がない。
エンパワメントをうながせるような機会を作る必要がある。

窓口ハラスメントによる孤立排除

男性と交際していないですか？

妊娠していないですか？

もう二度と来たくない

〇〇市子育て支援課
児童扶養手当現況届

ひんぱんな訪問かつ定期的な仕送り
＝事実婚



そのほかの論点

精神的暴力と面会交流共同親権

- 面会交流
 - 離婚後も続く支配のツールになる可能性
- 家庭裁判所の原則面会交流主義の危険
- DVに配慮した面会交流支援の必要
- 共同親権は慎重に

養育費の取り立て確保

- 取り決め支援
- 履行確保
- 立替え払い

別居中のシングルマザーの困難

- ひとり親として認められていないため児童扶養手当は給付されない
 - 児童手当ももらえない
 - 世帯収入で市民サービスを利用
- ➡ 生活困難